

令和5年10月19日会議概要

第1 日時

令和5年10月19日（木）午前9時20分から午前11時10分までの間

第2 出席者

増田委員長、在田委員、森委員、森田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

捜査用似顔絵審査会（10月12日）

委員から、「どの作品も優劣付け難く日頃の鍛錬の成果が出ていた。写真からの印象を言葉で伝えられて似顔絵を描くというのは難しいことだと感じた。」との発言があった。

2 議題

(1) 「京都府警察音楽隊第34回定期演奏会」の開催について

総務部長から、11月19日、京都コンサートホールにおいて「京都府警察音楽隊定期演奏会」を開催する旨、報告があった。今年は、コロナ禍前と同様の規模で行い、来場者に反射材素材で折り鶴を作成していただき交通安全を呼びかける等の各種広報活動を行うこととしている旨、説明があった。

委員長から、「定期演奏会は警察広報にとって極めて重要なイベントである。盛会を祈念する。」旨、発言があった。

(2) 令和5年度全国警察柔道・剣道大会への出場について

警務部長から、10月23日と24日の2日間、日本武道館において開催される全国警察柔道・剣道大会に出場する旨、報告があった。

(3) 「近畿管区内優秀警察職員表彰」等の受賞者の決定について

警務部長から、近畿管区内に勤務する警察職員で多くの功績があった「近畿管区内優秀警察職員」に当府警から2名の警察官の受賞が決定し、11月13日、プリムローズ大阪において表彰式が行われる旨、報告があった。また、近畿管区内の警察で勤務し、治安の最前線で功績を残した警察官を顕彰する産経新聞社主催の「近畿の警察官」に、当府警から1名の警察官の受賞が決定し、11月30日、大阪国際交流センターにおいて表彰式が行われる旨、報告があった。

(4) 京都私立病院協会主催の対処訓練への協力について

生活安全部長から、一般社団法人京都私立病院協会からの依頼を受け、10月24日、府警本部においてサイバー事案の発生を想定した対処訓練を実施する旨、報告があった。ひとたび病院施設においてランサムウェア被害が発生すると、人の生命に関わる事態になりうることから、医療機関においても危機感を抱いており、京都府下の民間病院が会員となっ

ている京都私立病院協会（私病協）と平素から協力関係を築き研修会を行う等している中で、今回の対処訓練を実施することとなった旨、説明があった。私病協会員のシステム担当者等約50名が参加し、サイバー企画課による「サイバー犯罪の現状と対策」と題する講演の後、情報技術解析課によるデモンストレーションや公安課等による標的型メールが送られた際の対処要領等について訓練を実施するもので、今後もサイバー企画課を中心に医療機関との連携について強力に取り組むをすすめていきたいと考えている旨、説明があった。

委員から、「今後も医師会、府病協（京都府病院協会）、私病協と連携し、しっかりと取り組むをすすめて欲しい。」旨、発言があった。

(5) 令和5年9月末の特殊詐欺情勢について（暫定値）

刑事部長から、令和5年9月末現在における京都府内の特殊詐欺の認知、検挙、水際阻止状況等について報告があった。9月末現在の情勢については、被害額が増加する中、特にキャッシュカードに係る特殊詐欺被害件数が増加している一方で、事前の声掛け等による未然防止件数が去年同期より増加し、中でもコンビニエンスストアでの未然防止が5割近く増えている旨、説明があった。

また、通話録音装置に録音されていた予兆電話の通話内容を報道機関に提供した後警察署等への通話録音装置の貸出しに関する問合せが増加する等効果がみられたところであり、今後も、引き続き取締りや被害等の情勢を踏まえた効果的な対策に取り組んでいく旨、説明があった。

(6) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の許可状況について（9月申請分）

警備部長から、令和5年9月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく、集会、デモの状況について報告があった。

(7) 「京都府サイバーテロ対策連絡会第14回総会」の開催について

警備部長から、重要インフラ事業者等で構成する京都府サイバーテロ対策連絡会の総会を10月20日、府警本部で開催する旨、報告があった。

内容は、世界各国にサイバー対処のトレーニング施設を有している株式会社サイバージムジャパンから認定ホワイトハッカーの資格を持つ河村正史氏による講演、その後、パソコンを使いサイバー攻撃事案の発生を想定したログの調査等をロールプレイング方式で実施する等、サイバー攻撃の対処法について学習することとしている旨、説明があった。

委員長から、「今、最も重要なテーマの一つである。よろしく願います。」旨、発言があった。

(8) 令和5年度京都市総合防災訓練への参加について

警備部長から、10月28日、京都市長を会長とする京都市防災会議の主催で、京都市勧業館みやこめっせ及びその周辺で実施される「令和5年度京都市総合防災訓練」に当府警察から警備部長以下35人が参加して、救出救助、情報伝達方針の確認等を行う旨、報告があった。

(9) 追加報告

プロ野球の日本シリーズに関する雑踏対策について

地域部長から、10月28日から始まる日本シリーズで阪神タイガースが優勝となれば、警備部、交通部と連携し、約250人態勢で事故のないように万全を期して雑踏対策に当たる旨、報告があった。

(10) 監察案件

首席監察官から、監察案件 1 件について報告があった。

(11) 本部長総括

本部長から、「地域に根ざした警察活動として、交番が議員の方々や地域住民の皆さんの関心が非常に高いが、その一方で、警護や経済安全保障、サイバー、特殊詐欺等犯罪の広域化、国際化を踏まえ警察の対処能力向上が求められる中、国家警察機能を強化する必要性もある。今後も府民の御理解、御支援をいただき社会情勢に応じた警察業務の強化を進めていけるよう我々一丸となって努力してまいりたいと考えている。引き続き御支援いただきたい。」旨、発言があった。

3 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について

監察官室訟務官から、運転免許の取消処分を受けた者（1 件 1 名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 公安委員会宛て苦情について（受理 1 件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出について、受理 1 件の報告があり、処理方針を決定した。

4 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、12 件の行政処分を審議した。

5 個別報告

(1) 損害賠償請求事件の発生及び応訴について

監察官室訟務官から、令和 5 年 8 月 23 日、京都府外 1 名を被告とする損害賠償請求事件が京都地方裁判所に提起されたことに伴い、棄却を求めて応訴する旨、報告があった。

(2) 京都府暴力団排除条例に基づく勧告の実施について

暴力団対策室長から、組織犯罪対策第二課と伏見警察署は、暴力団員に対して利益供与を行ったとして、伏見区内の不動産業者及び同区居住の暴力団員の男性 3 名に対し、京都府暴力団排除条例に基づく勧告を実施した旨、報告があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。